

本书初版曾入选  普通高等教育“十一五”国家级规划教材

 “十二五”江苏省高等学校重点教材

にほんご

(第2版)

# 日语 泛读

总主编 成春有 张胜芳

3

主编 李 红

中国科学技术大学出版社

本书初版曾入选  普通高等教育“十一五”国家级规划教材

 “十二五”江苏省高等学校重点教材

にほんご  
日语  
泛读

总主编 成春有 张胜芳

主 编 李 红

副主编 严 桢 叶 磊 李瑞华

参 编 王 静 王鹏飞 王 艳

## 内 容 简 介

本套教材初版曾入选普通高等教育“十一五”国家级规划教材,此次改版后又荣获“十二五”江苏省高等学校重点教材、“十二五”江苏省精品教材等荣誉。本书共有16课内容,每一课均由数篇主读课文、单词解析、译文注释、课后练习以及阅读技巧等部分组成,所选内容涵盖日本的人文常识、礼仪文化、经济形势、科技知识等各个方面。每一课的最后还增设了日本语言文化栏目,旨在通过浅显的语言与事例介绍日本的语言文化,加深学生对日本语言文化风俗的理解,从而全面提高学生的日语阅读理解能力。本书可供日语专业三年级学生或与其相当水平的自学者使用,可助其达到国际日语能力考试N1级阅读理解水平。

## 图书在版编目(CIP)数据

日语泛读.3 / 成春有,张胜芳总主编;李红主编. — 2版. — 合肥:  
中国科学技术大学出版社,2016.6

ISBN 978-7-312-03953-9

I. 日… II. ①成… ②张… ③李… III. 日语—阅读教学—高等学校—教材 IV. H369.4

中国版本图书馆CIP数据核字(2016)第160685号

出版 中国科学技术大学出版社  
安徽省合肥市金寨路96号,230026

<http://press.ustc.edu.cn>

印刷 合肥市宏基印刷有限公司

发行 中国科学技术大学出版社

经销 全国新华书店

开本 787mm×1092mm 1/16

印张 17.25

字数 357千

版次 2011年2月第1版 2016年6月第2版

印次 2016年6月第1次印刷

定价 30.00元

# 前 言

《日语泛读》是普通高等教育“十一五”国家级规划教材，是“十二五”江苏省高等学校重点教材，曾获江苏省高等学校精品教材称号。

《日语泛读》是为高等院校日语专业学生或有志于自学日语者编写的教材，迄今已使用了7年。根据各院校师生在使用过程中的反馈意见，该教材较好地体现了《高等院校日语专业基础阶段教学大纲》和《高等院校日语专业高级阶段教学大纲》的基本精神，在提高学生阅读能力的同时着重培养了学生综合运用日语的能力。然而，随着普通高校日语专业学生水平的不断提高以及使用本教材学校类型的增多，有必要在保持原有亮点的基础上对教材的整体结构和内容进行完善和提高。

第2版教材保留了第1版中关于日本文化、日语学习策略等方面的内容，注重选用适合国际日语能力考试和高等院校日语专业四级或八级考试阅读理解的日文材料。新选材料涉及日本历史文化、经济评论、动漫、礼仪、创新性思维等方面。另外，依据21世纪日语专业四、八级考试和国际日语能力考试的新题型，对原教材中的练习进行了相应修订，练习的题型和内容都紧扣日语专业四、八级考试和国际日语能力考试。

本教材一套4册，每册16课，每课围绕一个主题，由一篇长篇文章及数篇短文组成，生词采用边注形式，有助于学生排除阅读障碍；文后附有注释、难句译文以及3种练习题型。第1、2册注重基础阶段阅读练习，构筑学生阅读理解的基本知识结构，使其达到国际日语能力考试N2级和日语专业四级考试要求的阅读理解要求，主题性文章后的练习题型为主观题（汉字写假名、假名注汉字、



造句)和多项选择题(主要考查对文章和词句的理解)。第3、4册注重培养学生高级阶段的阅读理解能力,使其掌握较高层次的阅读技巧,达到国际日语能力考试N1级和日语专业八级考试的阅读理解要求。

为了培养学生的阅读理解能力,本教材设置了“阅读技巧”栏目,分析各类文章的特点、所需掌握的重点、重要词汇的查找和与其相关词句的搭配关系。重点培养学生在阅读日语文章时紧紧抓住指示代词的关键作用,掌握它的指代内容。为了开阔学生的知识面,拓展学生的视野,帮助学生更好地理解文章,本教材还设置了“语言文化”栏目,让学生了解和掌握语言文化知识。第1、第2册“语言文化”栏目原文引用了森田六朗先生的《读懂关键词 看懂日本人的内心》(商务印书馆出版)10篇文章。引用文章得到森田六朗先生以及商务印书馆、日本アスク出版方面的同意。

本套教材由南京农业大学、南京林业大学、南京工业职业技术学院、南京邮电大学、南京航空航天大学、安徽外语学院、盐城工学院和铜陵学院共同编写和修订。我们希望第2版不仅能帮助学生扩大知识面和词汇量,适应大学日语专业四、八级考试和国际日语能力考试的新题型,增强日语阅读理解能力,而且能帮助学生提高运用日语学习策略和跨文化交际能力,养成独立阅读的习惯,进一步提高日语运用能力。

《日语泛读》编委会

2016年4月

# 目次

|           |     |
|-----------|-----|
| 前 言·····  | I   |
| 第一課·····  | 001 |
| 第二課·····  | 012 |
| 第三課·····  | 025 |
| 第四課·····  | 040 |
| 第五課·····  | 049 |
| 第六課·····  | 061 |
| 第七課·····  | 074 |
| 第八課·····  | 088 |
| 第九課·····  | 105 |
| 第十課·····  | 119 |
| 第十一課····· | 132 |
| 第十二課····· | 143 |
| 第十三課····· | 156 |



|                   |     |
|-------------------|-----|
| 第十四課·····         | 169 |
| 第十五課·····         | 180 |
| 第十六課·····         | 191 |
| 附录一 课文译文·····     | 201 |
| 附录二 语言文化广场译文····· | 233 |
| 附录三 练习参考答案·····   | 257 |

# 第一課

## （一） 綺麗な日本語

日本語と中国語は、どちらも漢字を言語の骨組みとして成り立っている。漢字のなかには、一つの文字がいきいきとした画像として完成されているものもある。これは単なる意味を伝達する記号ではなく、われわれの視覚に直接訴えかけているものでもあるように思われる。中国語を母国語とするものにとって、日本語の仮名に引き付けられる時もあり、また漢字を「薄めた」後に残された線にいささかの違和感や困惑を覚えることもある。仮名の存在はすでに文法的なレベルだけではなく、漢字を見る我々の視覚にとっては、そのイメージを緩和するような働きを持っている。仮名は、漢字の偏旁だという定義がある。が、厚味のない仮名の筆画が、漢字の群の中を織り込むように水泳するさまは、①まるで砂漠のなかにあらわれてきたオアシスのようである。

ひとつの画像としての漢字の存在を考えると、その形の豊満さもさることながら、意味空間にまで溢れ出て奥深い潭のように水底はほとんど見えてこない。人間の想像力に与える漢字の影響は、実に大きな大きなものであるが、そのすべてが、表形でないと言い表せないような内なる企図で、時には人に苦労を重ねさせる結果にもなる。画像は空であり、また人間を束縛する籠でもある。二つの言葉で文筆活動を行っている私は、②最近になって日本語に対するイメージがずいぶん変わった気がする。

言語は、一枚の風景画のようなものだ。美術館で作品を鑑賞することを連想される方もあるだろう。人間は初めて絵に接した時に、距離感というものを忘れがちになるが、実際に視覚と作品の関係は、作品と自分との間に存在する距離によって決められることが多い。例えば、手元に持つ絵と、それを3メートル先に置きながら見る場合、さらに10メートルも離れてその絵が一つの点景にしか見えない場合を考えると、我々の感じ方は果たして一緒だろうか。言い換えれば、一枚の絵に対する我々の凝視を和らげる効果があるに違いない。そして絵を除いた周りの空間は絶えず視覚の領域に絞り込まれてきて、人間の感受性にますます大きくなっていく参照係数を提供してくれる。一枚の絵は、ただひとつの画像であ

るが、それは動き続ける現実の世界を切り取り紙面上に静止状態で凝固させたのであろう。人間は、生きている限り、思惟という活動を止めることが容易にできない。だから、静止画像も一種の流動する感性に変わりながら、われわれの感覚を刺激することがあるように思われる。

日本語の一つの画像であり、時には風景そのものである。とりわけ、仮名と漢字の共用は、あたかも水と油を混ぜたような状態に見える。水は仮名で、透光に澄み切っている。ぎりぎりまで省略されたわずかな筆画は、まるで樹枝のように漢字の中をひっきりなしにかき回している。漢字は油で、仮名の中に滴らせるとすぐに凝固する。そしてその痕跡だけは、仮名と共に流れ漂いはじめる。漢字はひらかなと共に揺れ動きながら、かたかなによって浮かび上がることもある。

漢字は動きまわる仮名によって、その隠喩が解釈されるのであろう。仮名を海とすると、漢字は島である。私は、一隻の船のように海と島の間を自由に往来する。出身地が漢字の島であることは、私の宿命かもしれないが、それは実に愉快なことである。なぜなら私は更なる広大な空間を目の前にして、島と取り囲む大海原をも満喫することができるからである。二つの言葉で書きものをしているこの私に、神様が新しい生命を授けてくれた気がする。

## ——— (二) 人生 ———

私は一本の長い階段を設ける。一年三百六十五日たつと、一段上に登る階段である。その階段の六十八段目の一番上のところに私が腰をおろしている。そして、妻、二人の息子、二人の娘、その配偶者、そして孫たちというように、長い階段のところどころに、十何人かの男女が配されている。

下から二段目のところに、去年（昭和四十八年）生まれた幼児二人が、転がらないように紐で結びつけられている。どちらも男の子である。まだ這うこともできず、口もきけない。しかし、なんといっても、この英児二人が際立って潑刺としている。声から何十段でも階段をのぼっていくエネルギーを、その小さい体に詰め込み、いかなることで、実現できる可能性を身内に貯えている。まだ人生のいかなる汚れにも染まっていない。本能的に母に求め、乳を欲しがると、いかなる欲望を持っていない。人を羨むことも、人を憎むことも、歡心を買うことも知らない。栄誉も、金も無関係である。時々笑うが、神様が笑うことの練習をさせているとしか思わない。ただ無心に笑うだけである。

人間はみとな、この英児から出発している。そんな思いが突き上げてくる。この二人の英児が私の腰をかけているところまでのぼるのは大変である。英児のいる二段目のところから上を仰ぐと、気の遠くなるような遠さであろうと思う。三十段目から四十段目あたりにかけてばら撒かれている息子や娘たちは、いつか青春期をぬけて、壮年期に入ろうとしている。当然私などの知らないそれぞれの人生の哀歓を経験しているところであろうと思う。私は残念ながら、そこへ入ってやることはできない。いかなる問題であろうと、それぞれ自分たちで処理してゆくほかはない。父親が苦しんだように悲しまなければならないであろうと思う。

そういう自分で歩き、自分で処理していかなばならぬものが、人生というものであるからである。



## 単語

### (一)

|                 |        |                       |
|-----------------|--------|-----------------------|
| 骨組み (ほねぐみ)      | (名)    | 骨骼, 组织, 轮廓, 建筑物等的基础结构 |
| いきいき            | (副)    | 活泼, 生机勃勃              |
| 訴えかける (うったえかける) | (他一)   | 起诉, 控告, 控告            |
| 薄める (うすめる)      | (他一)   | 弄淡, 冲淡                |
| いささか            | (副・形動) | 有点, 有些, 些许, 小小的       |
| 偏旁 (へんぼう)       | (名)    | 偏旁                    |
| 織り込む (おりこむ)     | (他五)   | 织入, 编入, 采纳            |
| 豊満 (ほうまん)       | (名・形動) | 丰富, 充足, (体态) 丰满       |
| 溢れ出る (あふれでる)    | (自一)   | 溢出来                   |
| 潭 (ふち)          | (名)    | 渊, 潭, 〈比喻〉深渊, 难摆脱的困境  |
| 企図 (きと)         | (名・他サ) | 企图                    |
| 束縛 (そくばく)       | (名・他サ) | 捆绑, 管束, 剥夺自由          |
| 手元 (てもと)        | (名)    | 手头, 身边, 技巧, 技能        |
| 点景 (てんけい)       | (名)    | 点缀性的动物、人物             |
| 凝視 (ぎょうし)       | (名・他サ) | 凝视, 注视                |
| 和らげる (やわらげる)    | (他一)   | 使缓和, 使明白易懂            |
| 切り取る (きりとる)     | (他五)   | 切下, 侵占                |

|               |        |                 |
|---------------|--------|-----------------|
| 凝固 (ぎょうこ)     | (名・自サ) | 凝结              |
| 思惟 (しい)       | (名・自サ) | 思考, 逻辑思维        |
| 共用 (きょうよう)    | (名・他サ) | 共同使用            |
| あたかも          | (副)    | 正好, 恰似          |
| 澄みきる (すみきる)   | (自五)   | 清澈, 晴朗, 开朗、豁然开朗 |
| 滴らす (したたらす)   | (他五)   | (使液体) 滴下        |
| 痕跡 (こんせき)     | (名)    | 痕迹, 行迹          |
| 流れ漂う (ながれただよ) | (自五)   | 漂浮, 漂泊          |
| 隠喩 (いんゆ)      | (名)    | 隐喻              |
| 大海原 (おおなばら)   | (名)    | 广阔的大海           |
| 満喫 (まんきつ)     | (名・他サ) | 吃饱喝足, 充分享受      |

(二)

|                |      |          |
|----------------|------|----------|
| 設ける (もうける)     | (他一) | 设置       |
| 腰を降ろす (こしをおろす) | (慣用) | 坐下       |
| 転がる (ころがる)     | (自五) | 滚动       |
| 結びつける (むすびつける) | (他一) | 结合, 联系   |
| 這う (はう)        | (自五) | 爬        |
| 口をきく (くちをきく)   | (慣用) | 说话       |
| 潑刺 (はつらつ)      | (形動) | 活泼, 精力充沛 |
| 際立つ (きわたつ)     | (自五) | 明显、显著    |
| 貯える (たくわえる)    | (他一) | 储蓄, 蓄积   |
| 染まる (そまる)      | (自五) | 染上、沾染    |
| 羨む (うらやむ)      | (他五) | 羡慕       |
| 突き上げる (つきあげる)  | (他一) | 往上推      |

文 法

(一)

1. 仮名の存在はすでに文法的なレベルだけではなく、漢字を見る我々の視覚にとっては、そのイメージを緩和するような働きを持っている。

这句话的意思是：假名的存在不仅是语法上的作用，对于只看汉字的视觉疲劳来说也起到了缓和作用。



其中“～だけで(は)なく”接在名词或用言连体形后,表示不仅前一项是这样,后一项也同样如此,可以翻译为“不仅……而且……”“不仅……就连……”。例如:

○ このマンションは駅から遠いだけではなく、音もうるさい。

(这栋公寓不仅离车站远,还很嘈杂。)

○ 今日はピアノの練習をただけではなく、歌も歌いました。

(今天不仅练习了钢琴,还唱歌了。)

○ あの人にはバスケットボールが上手なだけでなく、バレーボールもよくできる。

(那个人不仅篮球打得好,也很会玩排球。)

2. 人間は初めて絵に接した時に、距離感というものを忘れがちになるが、実際に視覚と作品の関係は、作品と自分との間に存在する距離によって決められることが多い。

本句中“距離感というものを忘れがちになる”意思为“往往容易忘记距离感的存在”。

其中“～がちだ”接在名词或动词的第一连用形后面,意思为“经常……”“总是……”“动不动就……”等,用来表示常常发生不好的事情,“がち”常与表示频率的[副]词“いつも”“よく”“とかく”等搭配使用。例如:

○ その作家は、ここ数年病気がちでなかなかいい作品が書けない。

(那位作家这些年来经常生病,所以很难写出畅销的作品。)

○ このところ、はっきりしない曇りがちの天気が続いているので、洗濯物が干せなくて困る。

(最近天气总是那么阴沉沉的,洗的衣服也晾不干,真烦人。)

3. ひとつの画像としての漢字の存在を考えると、その形の豊満さもさることながら、意味空間にまで溢れ出て奥深い潭のように水底はほとんど見えてこない。

“～もさることながら”接在名词后面,意思为“……不用说,……更是如此”等,表示前项内容理所当然地不必说了,就连一般的后项内容也同样如此。例如:

○ 彼は、大学の成績もさることながら、スポーツ万能で親孝行という申し分のない息子だ。

(他在大学时的成绩就不用说了,在体育方面更是多才多艺,又孝顺父母,是个无可挑剔的儿子。)

○ このドレスは、デザインもさることながら、色使いが素晴らしい。

(这件女式礼服,设计上没得挑,颜色的搭配更是绝妙。)

4. 漢字を見る我々の視覚にとっては、そのイメージを緩和するような働きを持っている。

“～働きを持っている”接在“名词+の”或用言的连体形后面，意思为“起到……作用”，“働き”前面为修饰成分，表示其具体内容或性质。该句型表示拥有前项内容所提到的性能或作用等。例如：

○ 体内時計は夜になると眠くなり、朝が来ると目覚めるという働きを持っている。

（我们体内的时钟具有晚上使人变困、早上使人醒来的作用。）

○ 塩は人体に重要な働きを持っているというわけである。

（食盐对人的身体起着重要作用。）

## （二）

1. いかなる問題があろうと、それぞれ自分たちで処理してゆくほかはない。

“～う・ようと”接在动词的推量形的后面，意思为“不管……都……”“无论……都……”，表示不管前者如何，后者都不以前者发生的意志为转移，后者与前者所发生的变化无关。例如：

○ 彼が誰と結婚しようとも、私には関係ないことだ。

（他无论跟谁结婚，都跟我没关系。）

○ どこへ行こうとあなたの勝手だ。

（要去什么地方，是你的事。）

○ どんなに馬鹿にされようと腹を立てるでもなく彼はひたすら働いている

（不管别人怎么欺负他，他都不生气，就是一个劲儿地干活。）

2. そういう自分で歩き、自分で処理していかねばならぬものが、人生というものであろうからである。

这句话的意思是：像这样必须自己走自己的路，自己处理一切问题，这就是所谓的人生吧。该句中的“～ねばならぬ”是一个偏向古典日语的说法，偶为人们所用，其用法和作用与“～なければならぬ”相当，接在动词的未然形后面，表示“必须……”“不得不……”的意思。

其中“ねば”是表示否定的助动词“ぬ”的假定形“ね”连接接续助词“ば”而成的。“ならぬ”是动词“なる”的未然形“なら”接表示否定的助动词“ぬ”而成的。也可以用“～ねばならない”的形式，比较礼貌的说法是“～ねばなりません”。例如：

○ 一致協力して問題解決に当たらねばならない。

（必须同心协力努力解决问题。）

○ 平和の実現のために努力せねばならない。

（必须要为实现和平而努力。）

○ 暴力には、力を合わせて立ち向かわねばならぬ。

(对于暴力，大家必须同心协力一起对抗。)



## 練習

一、次の漢字にひらがなをつけなさい。

- |                          |                         |
|--------------------------|-------------------------|
| 1. 筆画 (            )     | 2. 定義 (            )    |
| 3. 訴えかける (            )  | 4. 英児 (            )    |
| 5. 浮かび上がる (            ) | 6. 大海原 (            )   |
| 7. 哀歎 (            )     | 8. 凝視 (            )    |
| 9. 成り立つ (            )   | 10. 厚味 (            )   |
| 11. 静止 (            )    | 12. 思惟 (            )   |
| 13. 骨組み (            )   | 14. 和らげる (            ) |
| 15. 絞り込む (            )  | 16. 貯える (            )  |
| 17. 束縛 (            )    | 18. 手元 (            )   |
| 19. 風景 (            )    | 20. 憎む (            )   |

二、次のひらがなによって、漢字を書きなさい。

- |                         |                           |
|-------------------------|---------------------------|
| 1. がぞう (            )   | 2. へんぼう (            )    |
| 3. こんわく (            )  | 4. たくわえる (            )   |
| 5. いんゆ (            )   | 6. はつらつ (            )    |
| 7. うらやむ (            )  | 8. いわかん (            )    |
| 9. こんせき (            )  | 10. さんしょう (            )  |
| 11. でんたつ (            ) | 12. はいぐうしゃ (            ) |
| 13. そまる (            )  | 14. おうらい (            )   |
| 15. きと (            )   | 16. ほうまん (            )   |
| 17. うすめる (            ) | 18. りゅうどう (            )  |
| 19. まんきつ (            ) | 20. てんけい (            )   |

三、次の表現を使って、文を作りなさい。

1. ～だけではなく
2. ～がちだ
3. ～もさることながら



4. ～ねばならぬ

四、文章一を読んで、次の質問に答えなさい。

問一 なぜ①「まるで砂漠のなかにあらわれてきたオアシスのようである。」といわれるか。

- ① 漢字を言語の骨組みとした日本語には、仮名の数が少ないから。
- ② 仮名は漢字の偏旁だという定義があるから。
- ③ 仮名は漢字を見るわれわれの視覚にとって緩和する働きを持っているから。
- ④ 漢字を見るわれわれの視覚にとって緩和するような働きをしているから。

問二 ②「最近になって日本語に対するイメージがずいぶん変わった気がする」とあるが、どんなイメージに変わったか。

- ① 日本語は、一枚の風景画のようなものである。
- ② 日本語もひとつの画像であり、時には風景そのものである。
- ③ 仮名はまるで砂漠にあらわれてきたオアシスのようなものである。
- ④ 日本語は一つの静止画像である。

問三 漢字について文章と合わないものがどれか。

- ① 漢字は画像からできている。
- ② 漢字は意味深いので時に人を苦しくさせる。
- ③ 漢字は仮名によって壊された。
- ④ 漢字は単なる記号ではない。

問四 文章について内容と合わないものはどれか。

- ① 漢字は仮名の共用は水と油を混ぜた混乱の状態に見える。
- ② 絵は距離によって与えた印象が違う。
- ③ 筆者にとって日本語は生きている生命と同じである。
- ④ 人間は生きている限り、思惟という活動を止められない。

五、文章二を読んで、次の質問に答えなさい。

問一 本文では、人生は何に喩えられましたか。

問二 あなたなら、人生を何に喩えますか。人生について、自分の感想などを書いてください。

## 読解技法

## 国際日本語能力テスト紹介

“日本語能力認定標準”起始于1984年，由日本財団法人日本国际教育协会、日本国际交流基金主办，每年12月份的第一个星期天上午9时在世界各地同时进行。参加考试者为母语非日语者。日本国立大学留学生入学都要求学生日语能力一级考试合格，名牌大学则对一级的考试成绩要求更高。专科学校要求学生通过日语能力二级考试，一级考试合格者会免除学费。国家教育部1984年就开始承办这项考试，从上世纪90年代中期起应考人数猛增。到上世纪末本世纪初，日语能力一级合格证书成为日语专业毕业生进入日本企业的特别通行证，每年考生都会为考试报名而发愁，尤从2003年开始施行网上报名，考生全国大流动，考生多的地区纷纷到考生少的城市参加考试，成为日语考试的一道风景线。

日语能力按级别分为四级、三级、二级和一级，一级最高。每级分为文字・词汇、听解、读解・语法等三个部分，前两项各100分，后一项为200分，总计400分，下表为四个级别的计分等情况介绍：

|        | 一级    | 二级   | 三级   | 四级  |
|--------|-------|------|------|-----|
| 合格分（分） | 280   | 240  | 240  | 240 |
| 学时（小时） | 150   | 150  | 150  | 150 |
| 汉字（个）  | 2000  | 1000 | 300  | 100 |
| 单词（个）  | 10000 | 6000 | 1500 | 800 |

也就是说，日语专业学生一年级上学期可以达到四级水平，下学期可以达到三级水平，三年级上学期可以达到二级水平，四年级可以达到一级水平。学习刻苦、效果好的同学二年级下学期可以拿到二级证书，三年级下学期可以拿到一级证书。

## 言語文化コラム

## 日本の教育

古代から現代まで、日本の教育はいくつの段階を経て、絶えず発展し、改善することを通じて、次第に定着してきた。

古代の日本教育

古代の日本では、儒学が伝来した後宮廷の中で私学を設立したことより、

組織的な教育が始まった。聖徳太子は 593 ～ 622 年の摂政した時期に、文化教育を興し、仏教を伝播するために多くの仏教寺院を創立した。同時に、孔子の哲学思想を広く宣伝し、当時の中国の隋に使節や留学生たちを派遣し、中国の封建制度と文化を移植した。646 年に「大化改新」の詔が發布された後、日本は教育を管理する官職を設け、中国の唐代の教育制度をまねて日本の貴族教育制度を確立した。668 年に天智天皇が即位した後、京都で大学（大学寮ともいう）を設立し、地方で国学を設けた。奈良時代になると、官立の大学と国学、私塾、家学の教育形式が現れて発展してきた。平安時代の中期、大学が衰え、私学が次第に発展した。江戸時代、幕府は封建等級の制度を守るため、中国の宋儒の朱熹が創立した朱子学を尊崇することになる。教育機関は幕府が直轄する学校、藩学、民衆教育所との三種に分かれている。

### 近代の日本教育

明治政府は 1868 年に「明治維新」を実行した。それから、文部省を設立し、学校制度の改革に着手した。1872 年に「学制」が公布され、教育改革の問題に注目し始めた。1877 年に明治政府は東京開成学校と東京医学校を合併して東京大学になり、日本の近代史上に第一所の大学を創立した。また、1886 年に公布された「学校令」により、尋常小学校（修業年限 4 年間）と高等小学校（修業年限 4 年間）を設立し、国民に対しての初等教育が始まった。1918 年に公布された「高等学校令」により、高等科は文科と理科に分かれ、地方での公立大学の設立、私人団体が私立大学を創設ことが許された。

第二次世界大戦の間、日本は戦時教育を実行し、軍国主義の教育体制を確立した。学生が兵役に強制された同時に、労働力として徴用された。そのため、文化科目を減らされ、軍事訓練の科目が増加になった。戦争の末期、日本の学校教育が全く崩壊の境地に陥ってしまった。戦後、日本は米国の教育制度を見本にしてブルジョア民主主義の教育制度を確立した。1947 年より、日本は教育史上に第二回の重要な教育改革を始めた。全部で 3 年間余りがかかり、新しい教育制度が打ち立てられ、学制と教育の管理体制が大きな変化を起した。

### 現代の日本教育

戦後の教育改革を経て、現代の日本教育は主に小学校（6 ～ 12 歳）、中学校（12 ～ 15 歳）、高校・高等専門学校（16 ～ 18 歳）、大学・短期大学との四つの段階を包括している。学校が性質上に国立、公立（都立）と私立に分かれている。義務教育の年限は 6 年間から 9 年間に延長され、つまり 6 年間の小学校と 3 年間の中学校は義務教育であり、さらに 3 年間の高